

取扱説明書 (The English version printed on the back page.)

はじめに

- この取扱説明書は、安全にご使用して頂くために重要な注意事項及び取扱い方法について記載しています。ご使用になる前に必ずお読みになり、十分理解してからご使用下さい。
- この取扱説明書は読んだ後もすぐ確認出来るように大切に保管して下さい。
- △印を付記した項目は、安全上、特に重要ですから必ず守って下さい。

注意

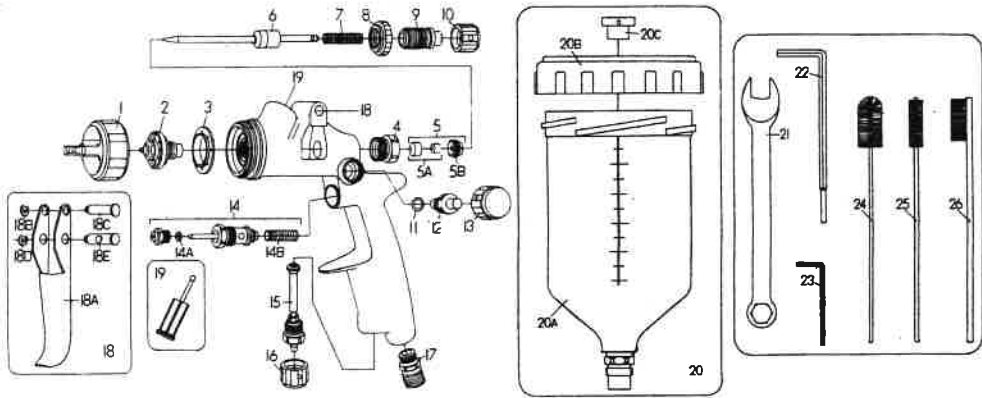
- 通常の塗装以外の用途で使用しないで下さい。
- 吹き付け作業時には塗装ブース等を使用し、換気と火気に十分ご注意下さい。換気が不十分な場合、有機溶剤による中毒や引火の危険性があります。
- 最高使用圧力以上での使用は絶対に避けて下さい。最高使用圧力：0.69Mpa (7kgf/cm²)。
- 人体や動物に向けてスプレーしないで下さい。
- 吹き付け作業時には、適切な服装、帽子、手袋、マスク、眼鏡、耳栓等の保護具を着用して下さい。
- スプレーガンに塗料カップ、空気ホースを接続する時は、工具を使用して確実に取り付けて下さい。
- 製品の改造は、絶対にしないで下さい。
- 異常を発見したら使用を停止し、原因が解決されるまで使用しないで下さい。
- 体調に異常を感じたら作業を中断し、場合によっては医師の検診を受けて下さい。

仕様明細 (吹き付ける材料、粘度、圧力、気温等で数値は変化します)

吹付手元空気圧力 (Mpa)	吹付距離 (mm)	空気使用量 (l/min)	塗料噴出量 (ml/min)	パターン幅 (mm)	質量 (g)
0.2	200	220	155~170	250~270	440

Forte (フォルテ) 分解部品名称図 (部品の発注の際は、この分解部品名称図の番号と名称を基にして下さい)

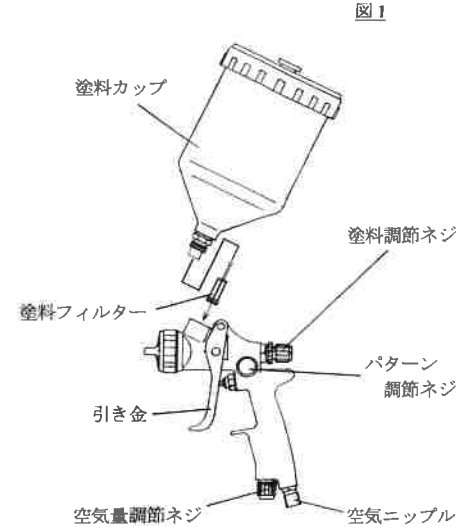
- ※1. 空気キャップセット ※2. 塗料ノズル ※3. エアブラシ ※4. シリンダー ※5. ニードルパッキングセット
- ※5A. ニードルパッキング ※5B. パッキング押さえネジ ※6. ニードル弁 7. ニードルスプリング
- 8. ロックナット 9. 塗料調節ネジ 10. 塗料調節ツマミ 11. Oリング(4F) 12. パターン調節器本体
- 13. パターン調節ツマミ ※14. 空気弁セット ※14A. 空気弁パッキング 14B. 空気弁スプリング
- 15. 空気量調節器 16. 空気量調節ツマミ 17. 空気ニップル 18. 引き金セット
- 18A. 引き金 18B. E-リング (M3) 18C. 引き金ピン 18D. E-リング (M4) 18E. ニードルガイド
- ※19. フィルター 20. 塗料カップ ※20A. カップ本体 ※20B. カップフタ 20C. 漏れ防止キャップ
- 21. コンビスパナ 22. ニードルパッキングレンチ 23. レンチ (M2) ※24. ねじりブラシ (大)
- ※25. ねじりブラシ (小) ※26. ブラシ ※印を付した部品は、消耗品です



※空気キャップ、塗料ノズル、ニードル弁を注文の際は、ノズル口径を指定して下さい

使用方法

- 1) スプレーガン本体のカップ取付ネジ内部に塗料フィルターを押し込んで取り付ける。
- 2) スプレーガン本体のカップ取付ネジに塗料カップをねじ込み、しっかりと固定する。
- 3) コンプレッサーからの空気ホースをスプレーガンの空気ニップルに工具を使用して取り付ける (塗料の粘度、性質により吹付けの条件は異なりますが、スプレーガンの手元での圧力は、0.1~0.3Mpa が適当です)。
- 4) 塗料カップに調色し吹付けに適した粘度の塗料を入れる (粘度カップ(NK-2)で15~23秒が適当)。
- 5) 空気量調節ツマミを回して空気量を、塗料調節ツマミを回して塗料の噴出量を、パターン調節ツマミを回して吹付けパターンを調整して吹付け作業を行って下さい (図1参照)。
- 6) 図のように、塗装面に対し、吹き付けパターンが垂直になるように吹き付けて下さい (図2参照)。
- 7) 塗装面に対し、スプレーガンを平行に動かして塗装して下さい (ストロークスピードは600~800mm/sec)。
- 8) 塗装面との距離は、約100~250mmが適当です (図2参照)。
- 9) 吹き付ける材料により異なりますが、吹き付けパターン幅に対する塗り重ねは、3/4か4/5での塗り重ねが適当です。



※3M社製 PPS をご使用の場合
適合アダプター タイプ9 品番：16016

使用上の注意

- ※実際に吹付けをする前に別の物に捨て吹きをして、パターン形状が正常かを確認した後吹き付け作業を行って下さい (図3参照)。
- ※スプレーガンの引き金は2段引きになっています。1段目でエアが、2段目で塗料が出ます。
- ※エアードライヤーやエアフィルターを通した、きれいな圧縮空気を使用して下さい。
- ※空気ホースは耐圧規格に合った物を使用し、古くキズ等で傷んだホースの使用は避けて下さい。
- ※購入後初めてご使用の際には、シンナーで塗料回路を洗浄してからご使用下さい。
- ※製品の改造はしないで下さい。

- ※スプレーガンは地面に置かず、出来るだけ付属のガンスタンドに掛けて下さい。スプレーガンをガンスタンドに掛けた時、引っかけて落下させないように注意して下さい。ガンスタンドのマグネット部には、保護シールを貼っていますが、壁面等にキズが付かないように注意して下さい。

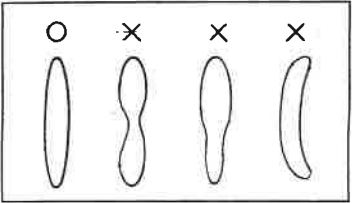
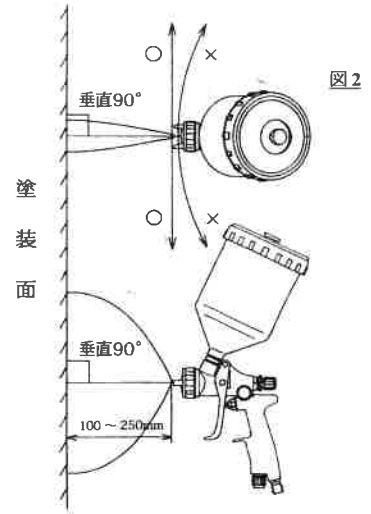


図3

使用後の保守、点検

- 1) 吹付け作業終了時、塗料カップ内に残った塗料は他の容器に移して下さい。
- 2) 少量のシンナーを塗料カップに入れ、塗料カップ内面に付着した塗料を落とし、吹出して下さい。
- 3) 2)の作業を繰り返して行い、塗料回路内に残った塗料を確実に洗浄して下さい。
- 4) **分解洗浄をする時の手順**

塗料調節ネジを外しニードル弁を抜いてから、空気キャップ、塗料ノズルの順で外し、溶剤に浸して洗浄して下さい。
塗料ノズルの着脱には、付属の工具（分解図 NO.21 メガネレンチ部）を使用して下さい。

組み付ける時の手順

塗料ノズル、空気キャップを取り付けてから、ニードル弁を組み付けて下さい。

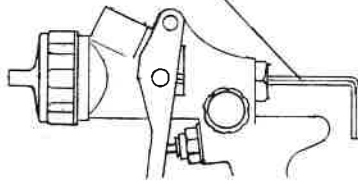
- 5) スプレーガンの各部に付着している塗料の洗浄は、シンナーを浸したブラシで行い、ウエス等でふき取って下さい。

- 6) 洗浄、組み付けが終わったら、再度空気ホースを接続してカラ吹きをし、内部に溶剤が残らないようにして下さい。

- 7) ニードルパッキングの締め具合を調節する時は、ニードル弁を抜き、NO.22 付属の工具を使用して行って下さい。

無理に閉め込まず、少しずつニードルパッキング押えネジを締めて調節して下さい。 ニードルパッキングを締めても塗料が漏れる場合は、引き金を外して、NO.5 ニードルパッキングセットを交換して下さい。

No.22 ニードルパッキングレンチ



※分解図番号 NO.3, NO.4 は、通常の洗浄時には、外す必要はありません。

保守、点検上の注意

※吹付け作業が終了したら、速やかに洗浄して下さい。 カップ内に塗料、溶剤を入れたままにしないで下さい。

また洗浄には必ずきれいな溶剤を使用して下さい。 特に水系の塗料は、硬化すると洗浄に時間が掛かります。

※分解、洗浄をする場合は、必ず空気ホースを外してから行って下さい。

※空気キャップ、塗料ノズル、ニードル弁はスプレーガンの心臓部です。キズを付けない様に注意して洗浄して下さい。

※洗浄は、吹付け作業時と同様に換気と火気に十分注意して行って下さい。

※スプレーガン全体、塗料カップをシンナー等の溶剤に浸さないで下さい。

※空気回路内に溶剤が入らない様に注意して洗浄して下さい。 またガンウォッシャーをご使用の場合には、空気ニップルにカバーを付けてご使用下さい。

※フィルターには、メタリックの粒子が付着しています。洗浄しても落ちない場合は、新しい物に交換して下さい。

◎品質向上の為、予告なく部品、仕様変更することがありますのでご了承下さい。

製品の保証と修理サービスに関して

- ◎製品の保証期間は、購入日から6ヶ月です
- ◎万一の故障の場合は、お買い上げの販売店、または当社までご連絡下さい。保証期間内は、無償修理いたします
- ◎本製品の故障または不具合に伴う生産保証、営業補償など、二次損失に対する保証は致しませんのでご了承願います。
- ◎下記の場合の故障、不具合の場合は、保証期間内でもお客様のご負担（有償）となります
取扱説明書の注意事項を守らなかったことによる、故障および損傷
お客様の取り扱い上の不注意による故障および損傷、消耗品の交換、修理
天災、地震、火災、地震、水害、塩害、落雷、公害などによる故障および損傷
純正部品以外の部品が使用されている場合
弊社以外での修理がなされている場合
製品に改造がなされている場合
- ◎保証は、日本国内においてのみ有効
製品に関するお問い合わせ、ご意見、ご希望等ございましたら、下記住所までご連絡下さい

spray man®

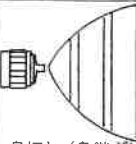




株式会社 恵宏製作所

〒578-0957 大阪府東大阪市本町中1-1-16

TEL: 072-966-4552 FAX: 072-966-4562

URL: <http://www.sprayman.jp> E-MAIL: info@sprayman.jp

吹き付けパターン不良時の原因と対策

現象	原因	対策
 息切れ（息継ぎ）	1. 塗料ノズルの締め付け不足による、エアの混入 2. 塗料ノズルシート面のキズによる、エアの混入 3. ニードルパッキングセットからの、エアの吸い込み 4. ガン本体と塗料カップ接合部からの、エアの吸い込み	1. 塗料ノズルの増し締め 2. 塗料ノズルの交換 3. ニードルパッキングネジの増し締め ニードルパッキングセットの交換 4. 塗料カップの締め直し
 三日月	1. 空気キャップの角穴に塗料等の固形物が詰まり、エアのバランスが崩れてパターンが片寄っている	1. 角穴の固形物を除去する。 ブラシ等を使用し、金属類の物は使用しないで下さい。
 かたより	1. 塗料ノズルの先端、空気キャップ内径に塗料等の固形物が付着している為に、エアのバランスが崩れパターンが片寄っている 2. 塗料ノズルの先端が変形している	1. 付着している固形物を除去する。 ブラシ等を使用し、金属類の物は使用しないで下さい。 2. 塗料ノズルの交換
 中くびれ	1. 塗料の粘度が低すぎる 2. 使用空気圧力が高すぎる 3. パターン調節器を開けすぎ	1. 塗料に原液を追加、適正な粘度にする 2. 空気量調節ツマミで圧力を下げるか、トランスフォーマーの圧力を下げる。 3. パターン調節ツマミを右へ回してパターンを狭くする
 中高	1. 塗料の粘度が高すぎる 2. パターン調節器が閉じていない	1. 塗料を希釈して、適正な粘度にする 2. パターン調節ツマミを左へ回してパターンを広くする

色々な症状に対する原因と対策

症状	原因	対策
塗料ノズル先端からの塗料漏れ	1. ノズル内部シート面に異物が付着している 2. ノズル内部シート面にキズが付いている 3. 塗料調節ツマミの緩めすぎで、ニードルスプリングがニードル弁を押せていない 4. ニードルパッキングの締めすぎで、ニードル弁の動きが悪くなっている	1. 分解洗浄を行う 2. No.2 塗料ノズル、No.6 ニードル弁の交換 3. 塗料調節ツマミを適正な位置に閉める 4. No.5C パッキング押さえネジを適正な固さに調節する
No.5C パッキング押さえネジからの塗料漏れ	1. No.5C パッキング押さえネジが緩んでいる 2. No.5 ニードルパッキングセットにキズが付いている	1. No.22 ニードルパッキングレンチを使い適正な固さに締める 2. No.5 ニードルパッキングセットの交換
塗料が出ない	1. 塗料調節ツマミが閉じていない 2. 塗料ノズル内部に塗料が固まっているか、異物が混入しているために先端が詰まっている	1. 塗料調節ツマミを開く 2. 分解洗浄を行い、詰まりを取り除く
引き金を引いてもエアが出ない	1. コンプレッサーを起動させていない 2. トランスフォーマーが閉じられている 3. 空気量調節器が閉じられている	1. コンプレッサーを起動させる 2. トランスフォーマーの圧力を上げる 3. 空気量調節器を開ける
引き金を引いていないのにエアが出る	1. 空気弁シート部に異物が挟まっている 2. 空気弁シート部にキズが付いている	1. 分解して異物を除去する 2. 空気弁セットの交換
塗料を吹き付けると、他の色やメタリックの粒子が出る	1. 洗浄不足により前回の塗料が溶け出している 2. フィルターに今までの塗料が残留している	1. 分解洗浄を行う 2. フィルターの交換